

江府町の地域おこし協力隊の活動日記 vol.2

『畑や田んぼが本格的にスタートしました』



カサラファーム班
くわはた さいもん
桑畑 才文

今年は2haの田んぼに、20種類以上の米を植えました！古代米や、古くからある品種を主に栽培しています。田植えにはお手伝い(ウーファー)さんが8人も来てくれて、大助かりでした！田んぼを初めて見る人ばかりで「映画やドキュメンタリーでしか見たことがない」と言っていました。田んぼの泥に触れることは、貴重な体験だったと思います！

5月のゴールデンウィークは、地方の食材と都会をつなげる仕事をされている長根夕理さんが江府町を訪れ、「身をもって生産現場を知りたい」ということで宮市に滞在してくれました！田植えシーズンの法人宮市で、草刈りや苗出しなどを体験されました。



農事組合法人
宮市班
まつもと よしふみ
松本 良史

田植えも5月22日に無事終了し、次は大豆畑の準備に取り掛かります！



観光振興班
いわさき ちえ
岩崎 智恵

4～5月は、草木染めのワークショップを開催したり、柿原集落で竹のメンマ作りなどをしました。

5月20日の七色がしフリーマーケットでは、クロモジ茶や手作りのハーブスプレーなどを出品しました。中でも、主人の自家焙煎珈琲が予想以上に大人気で盛り上がりました！



▲旧江尾発電所を見学



▲江尾地内のスポットを調査

8名とも町外出身の生徒ですが、江府町の課題に興味を持ち、12月の研究発表に向けて、今後も町内を調べてまいります。見かけた方は温かく見守ってください！

- ① 旧江尾発電所の利活用
- ② 観光モデルコース作成

それぞれ、5月9日(水)、江府町を訪れた生徒たちはそれぞれ、日野高校では、総合的な学習の時間を利用して、『自ら地域の課題を見つけ、解決し、報告する』ことを目的とした、課題研究授業を行っています。平成30年度の授業では、日野郡3町の地域課題に着目し、8名の生徒が江府町の課題を取り上げる事になりました。

日野高レポート

『課題研究で江府町を調べるの巻』